

茨木市長選

# 4候補激しい戦い

## 風雨の中支持訴え

8日投票開票の茨木市長選は、いずれも無所属新顔の4候補が激しい戦いを繰り広げている。3日も強い風雨の中、それぞれ駅頭や選挙カーなどで政策を訴えた。

木本保平氏(67)は朝から阪急総持寺駅前で街頭演説。選挙カーで市内を回った後、茨木阪急本通商店街を練り歩き、商店主らと握手しながら、「市役所ぐる

みの政治ではなく、市民のための政治をする」と支持を訴えた。午後6時からJR茨木駅前に入った。同7時半からはみんなの党府第9区支部長の足立康史氏や大阪維新の会の松本利明府議とともに茨木神社で個人演説会を開いた。

山下慶喜氏(59)は有権者に対し肉声で政策を説くことを心がける。この朝もJR茨木駅前、市議時代から主張である市長退職金のさらなる削減のほか、学校給食の充実、孤独死を防ぐ地域社会づくりなどを訴えた。その後、選挙事務所

で来訪者に応対し、午後からは支持者を回った。「街頭で、初めて会う人に声をかけられる機会が増えた」といい、手応えを感じているという。

桂陸子氏(43)も朝はJR茨木駅前で演説。午前9時ごろから選挙カーで市内を回り、夕方は阪急茨木市駅前などで有権者に支持を呼びかけた。その後、個人演説会のため公民館など2会場をはしごし、「茨木には市民力がある。皆さんと力を合わせ、対立する人とも対話・調整で違いを乗り越え、未来の世代に住みよ

い市を残したい」などと訴えた。野村宣一市長らが応援に駆けつけた。

吉野宏一氏(44)は午前8時に阪急南茨木駅前街頭演説をスタートさせた。選挙カーで市内を回り、「市内の救急患者の7割が市外に搬送されている現状はおかしい。市民病院をつくりたい」と声を張り上げた。スーパの前などでは雨のなか外に出て買い物客らに

支持を訴えた。「目標を実現しようとする点に共感を得ていると思う」といい、夕方からは住宅地を選挙カーで回った。  
(小倉いづみ、沢木香織)

### 茨木市長選候補者 届け出順



きもと やすひら  
木本 保平 67 無 新

大阪維新の会副支部長・市柔道連盟会長 園廃棄物収集運搬会社長・市議長▽関西大文学部▽茨木市下穂積2丁目



やました けいき  
山下 慶喜 59 無 新

新社会党府委員長 園市議・福祉団体理事・府議秘書・病院職員▽同志社大法学部▽茨木市平田台



かつら ひとこ  
桂 陸子 43 無 新

園市議・地方議員全国組織共同代表・フィリピン支援NGO代表▽大阪体育大体育学部中退▽茨木市上泉町



よしの こういち  
吉野 宏一 44 無 新

医師 園医療関連会社社長・整形外科クリニック代表・整肢学園医師▽金沢医大医学部▽茨木市大手町

年齢は投票日現在。四角囲み政党は推薦・支持。略歴の園以下は前・元職。▽以下は出身校と住所。経歴などは原則として本人の回答に基づいています